

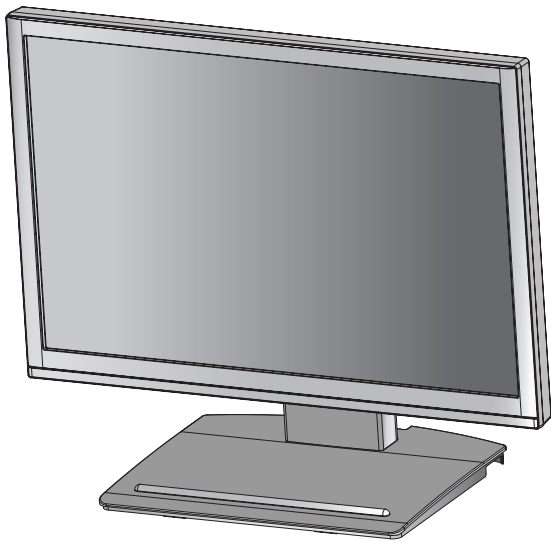
mitsubishi

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT20IWDL シリーズ (AE807)

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。(5,34頁参照)
- この取扱説明書内のURLはクリックするとWebサイトへリンクします。

インターネットホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、Webサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。(画面の [PCリサイクルマーク申込](#) からお入りください。)

www.pc-eco.jp

もくじ

	ページ
ご使用の前に……………	2
何ができるの? ……	2
付属品の確認……………	2
本書の見かた……………	3
安全のために必ず守ること……………	4
各部の名称……………	7
本体正面……………	7
本体背面……………	8
設置……………	9
ベーススタンドを取付ける……………	9
接続……………	10
接続方法について……………	10
接続する……………	11
設定……………	14
ドライバのインストール……………	14
USB DISPLAY設定……………	17
USBハブ機能について……………	18
LAN接続機能の設定について……………	18
Windows [®] セットアップ情報とテストパターンについて……………	19
オートセットアップ(アナログ接続の場合)……………	20
画面調節(OSD機能)……………	21
OSD画面の基本操作……………	21
OSD機能一覧……………	22,23,24
主なOSD機能……………	25,26
OSD機能による画面調節が必要となる場合……………	27
その他の機能について……………	28
困ったとき……………	29
故障かな?と思ったら……………	29
本機を廃棄するには……………	34
保証とアフターサービス……………	35
個人情報の取り扱い……………	35
付録……………	36
再梱包するとき……………	36
市販のアームを取りつけるとき……………	36
用語解説……………	38
仕様……………	40
TCO'03……………	41
FCC……………	42
さくいん……………	43

ご使用のために…

各部の名称

設置・接続・設定

(OSD機能) 画面調節

困ったとき

付録

ご使用の前に

何ができるの？

USB DISPLAY機能

■ USBハブ、LAN接続機能も装備 (→P14~P18)

USBケーブル一本接続することでマルチディスプレイ表示およびUSBハブ、LAN接続機能も利用できます。

省エネ効果を知りたい

■ ECO Professional機能 (ECO PROF.) (→P23, P25)

ECO設定にて使用時の消費電力を最大約10W節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示できるなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

スタンドの高さや角度を調節したい

■ スタンド調節機能 (→P13)

ディスプレイの高さを調節する（ハイトアジャスト機能）、角度を上下方向に調節する（チルト機能）ことができます。

明るさや色の調節をしたい

■ OSD機能 (On Screen Display) (→P21~P26)






画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO PROF. 機能設定などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間、操作ロックなど）もできます。

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

■ 2系統入力 (→P11)

2台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

本機は、USBとアナログ両方の信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」(→P10)に記載してあります。

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
USB接続	 Windows®シリーズ※1	USB-A端子	ドライバのインストールが必要です。 (→P14~P18)
アナログ接続	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	ミニD-SUB15ピン端子、 DVI端子※3またはD-SUB15ピン端子	要 (→P20)
2系統入力	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	USB-A端子とアナログ出力端子を併用します。	要 (アナログ接続のみ) (→P20)

※1 Windows®をご使用でアナログ接続の場合、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。(→P19)



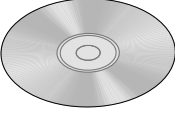
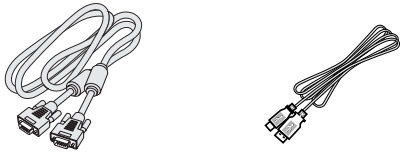
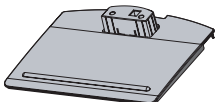
※2 Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター（市販）が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」(→P10)をご覧ください。

※3 DVI端子によるアナログ接続には、変換アダプター（市販）等が必要となります。詳しくは「接続方法について」(→P10)をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。

万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	電源コード 	ユーティリティディスク (ドライバ、 テストパターン、 取扱説明書) 	信号ケーブル 
ベーススタンド 	保証書 (梱包箱に 貼り付けて あります。)		ミニD-SUB15ピン -ミニD-SUB15ピン (アナログ接続用) USB-A-USB-Bケーブル (USB接続用)

お知らせ

液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

※ 有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、弊社で保証する表示可能なドットの割合を示しています。「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

：Windows®のみに関わる内容

：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P2)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P3)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P38)

もくじで探す→「もくじ」(→表紙)

さくいんで探す→「さくいん」(→P43)

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用前に (→P2)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全のために必ず守ること (→P4)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称 (→P7)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続 (→P10)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節 (OSD機能) (→P21)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

その他の機能 (→P28)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき (→P29)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録 (→P36)

用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

ご使用のためには：
…

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本製品はスウェーデンの労働団体TCOにより定められた、低周波電磁界、エルゴノミクス、省エネルギー、環境保護に対する規格であるTCO'03に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準 (2008年度版) を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss (JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況についての情報を公開しています。



詳細は、ウェブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名： RDT201WDL / RDT201WDL(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。







WISEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONEは、三菱電機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

ご使用の前に
安全のために
：

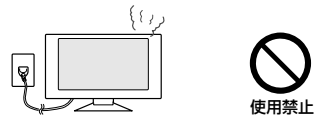
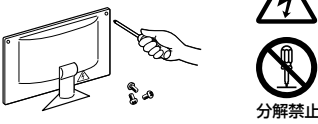
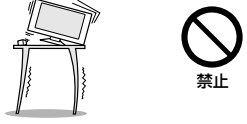

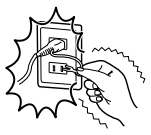
●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告





万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p>  <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>
<p>電源コードを傷つけない</p>  <p>熱器具のそば やぶれ 下敷き コードをひっぱる</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>アース線を接続する</p>  <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。 アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p>  <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p>  <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>

⚠ 警告

<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。</p> <p>安全のため他の機器には使用できません。</p>	<p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 修理・改造禁止</p> <p>ポリ袋で遊ばない</p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p> <p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 接触禁止</p>	<p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。</p> <p>手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p> <p style="text-align: right;"> 警告</p>
--	---	--

ご使用のために
安全のために
：

⚠ 注意

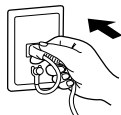
設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。
地震などで製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。

<p>狭い所に置かない</p> <p style="text-align: center;"> 設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p> <p style="text-align: center;"> 設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p> <p style="text-align: center;"> 屋外での使用 禁止</p> <p>本機は屋内での使用を想定していません。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p> <p style="text-align: center;"> 設置禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p>転倒・落下防止対策をおこなう。</p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。</p>
<p>液晶パネルに衝撃を加えない</p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> ぬれ手禁止</p>	<p style="text-align: center;"> 設置台を補強する 丈夫なロープで製品を壁とつなぐ</p>
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> プラグを持つ</p>		

⚠ 注意

電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかりと差し込む

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.



プラグを抜く

スタンドに手を挟まない

高さ調節、角度調節時、取り付け、取り外し時及び運搬時に手を挟むとけがの原因になります。



手の挟みこみに注意

液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（→P34：本機を廃棄するには）環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

ご使用のために
安全のために
：

液晶ディスプレイの上手な使い方

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。



長時間同じ画面を表示しない

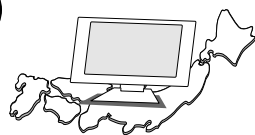
日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）
推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。



キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。



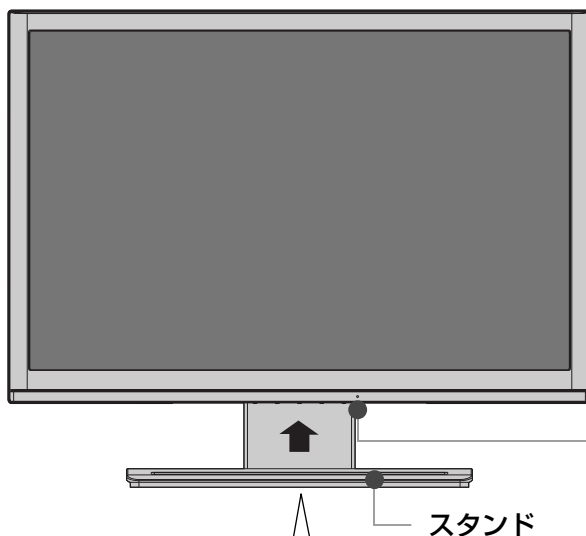
使用禁止

上手な見方

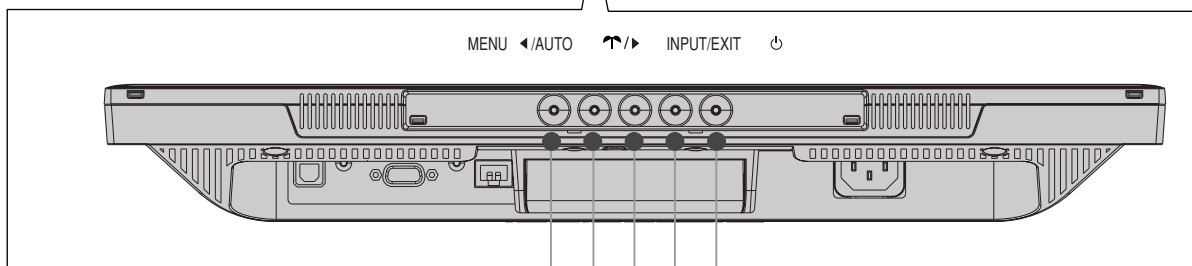
画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

各部の名称

本体正面



底面視



各部の名称

MENUボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選んだ調節項目を決定します。

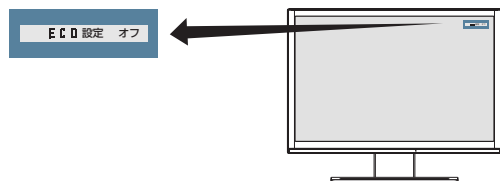
◀/AUTO
OSD画面が表示されていないとき (オートセットアップ機能)
自動的に画面を最適状態に調節します。
OSD画面が表示されているとき
「MENU」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

▶/▶
OSD画面が表示されていないとき (ECO設定スイッチ機能)
OSDで選択したECO設定 (▶) のオン/オフをおこないます。
また、同時に画面右上に設定状態が表示されます。
お知らせ
工場出荷設定は「オフ」です。
OSD画面が表示されているとき
「MENU」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押して好みの画面に調節します。

INPUT/EXITボタン
OSD画面が表示されていないとき
入力切替をおこないます。
OSD画面が表示されているとき
選択しているOSD画面から抜け出る時に押します。
主メニューOSD画面が表示されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

電源スイッチ
電源をオン/オフするときに押します。
お願い
電源を短時間のうちにひんぱんにオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

(ECO設定の表示例)



お知らせ

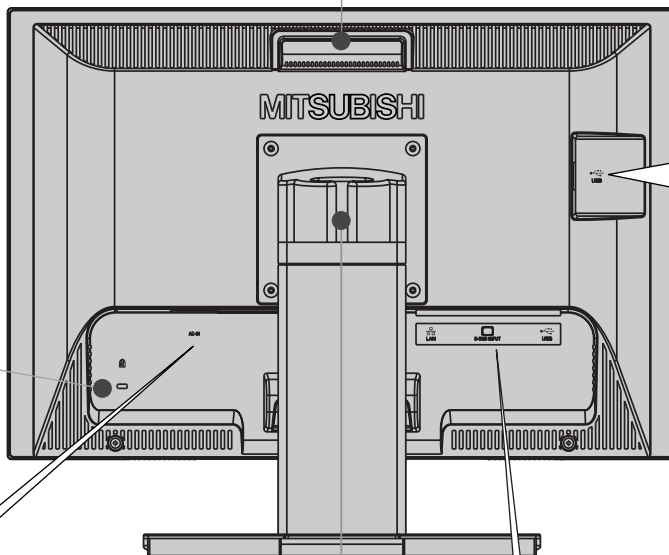
- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」(→P21)をご覧ください。
- 「AUTO」ボタンと「▶」ボタンはOSD画面が表示されていない場合に機能するホットキーです。
- 「AUTO」ボタンのオートセットアップ機能は、アナログ入力信号 (ミニD-SUB15ピン)のみ有効です。

本体背面

各部の名称

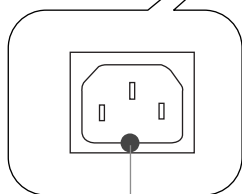
把手

持ち運びやWEBカメラの取付けに便利です。



盗難防止用ロック穴

盗難防止用のキー
(Kensington社製)
を取りつけられます。

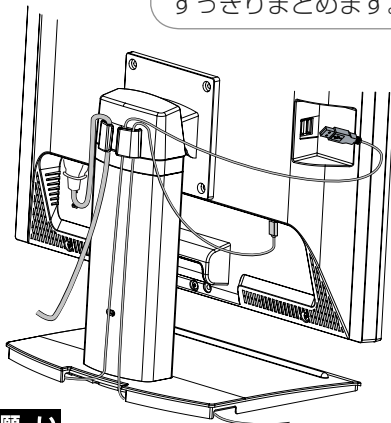


電源入力コネクタ

電源コードを接続します。

ケーブルホルダー

接続後のケーブルを
すっきりまとめます。

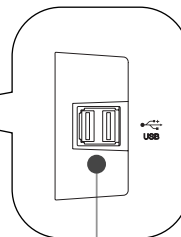


お願い

ケーブルホルダー部へは、細いケーブルから
順番に入れて、電源コードを最後に挿入して
ください。

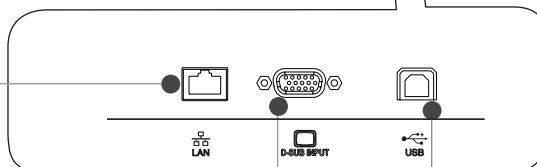
USBハブ

マウス等のUSB機器
と接続します。



LANコネクタ

LANケーブルを
接続します。



信号入力コネクタ(D-SUB)

ミニD-SUB15ピンケーブルを
接続します。

USBコネクタ(タイプB)

USBケーブルを接続します。

設置

ベーススタンドを取付ける

手順1

付属のベーススタンドを取り出し、安定した水平な机の上に置いてください。

警告



傾斜面や不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

手順2

図のように本機のスタンドネック部を「手順1」で準備したベーススタンドへ取付けます。
ベーススタンドの差し込み部分へ必ず「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。
スタンドネック背面の「固定ピン」を外した後、お好みに合わせて本機の高さを調節してください。 (→P13)

お願い

- 固定ピンは再梱包する場合等に必要となりますので、大切に保管してください。

警告

しっかり差し込む
組合せ部分が確実に接合されていないと、ベーススタンドより本体が外れる恐れがあり、落ちたり、倒れたりしてけがや破損の原因になります。

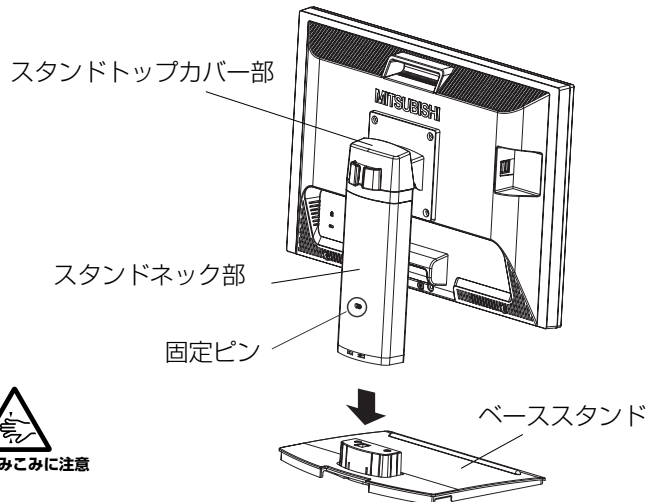
固定ピンは必ずベーススタンドを取付け後に外す
先に外すと本体のスタンドネック部が急に伸びてけがや破損の原因になります。

注意

スタンドに手を挟まない
スタンド取付け時に、手を挟むとけがの原因になります。



手の挟みこみに注意




接続

接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）に対応しています。
 ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。
 それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。
 また、本機ではコンピューターのUSB端子と本機を接続することで、USB DISPLAY機能を利用できます。
 アナログ接続とUSB接続で2台のコンピューターと本機を接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

コンピューター側	ディスプレイ側	USB-B	ミニD-SUB15ピン (アナログ)
DVI-I (アナログ接続)		接続できません。	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル (市販) で接続 (アナログ接続) または ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)
DVI-D (デジタル接続)		接続できません。	接続できません。
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)		接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続
D-SUB15ピン (アナログ接続) (2列) 		接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)
USB		USBケーブルで接続。ドライバをインストールする必要があります。	接続できません。

DVI-I: デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能
 DVI-D: デジタル入力のみに対応しているDVI端子
 DVI-A: アナログ入力のみに対応しているDVI端子

接続する

お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- USBケーブルはUSB DISPLAY、LAN ドライバをインストール後、接続してください。詳しくは(→P14~P18)をご覧ください。

お知らせ

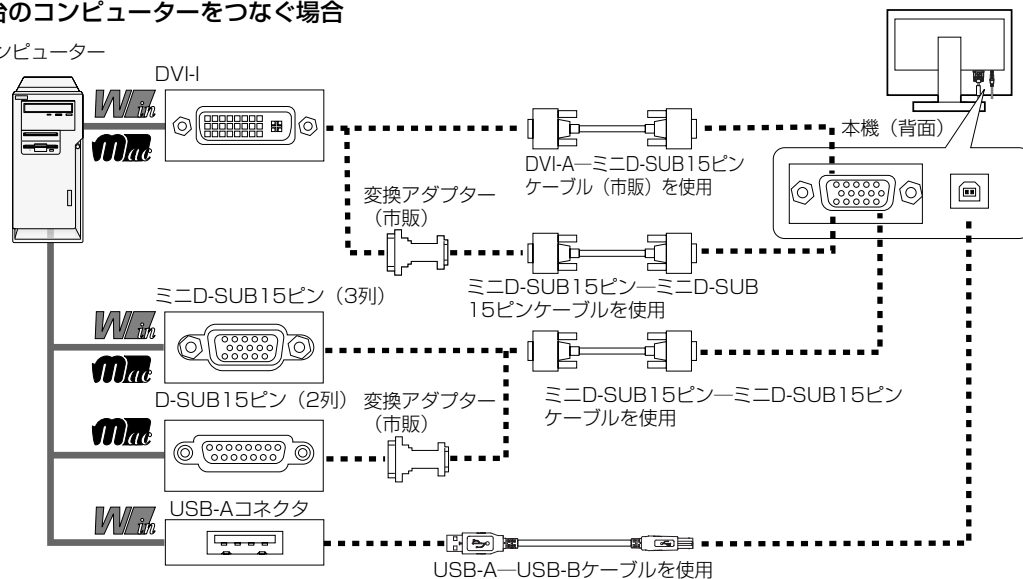
- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。

1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

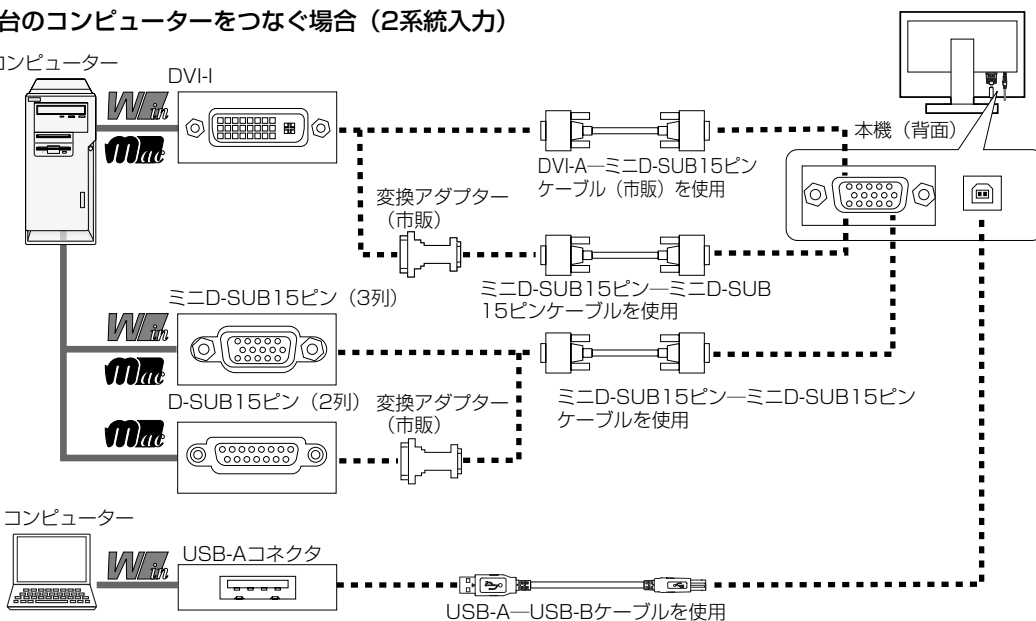
1台のコンピューターをつなぐ場合

コンピューター



2台のコンピューターをつなぐ場合 (2系統入力)

コンピューター



- ※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。
- ※ 本機は、デジタル接続でコンピューターに接続することはできません。
- ※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
- ※ D-SUB端子はAV機器接続には対応していません。

2 電源を接続する

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む
奥までしっかりと差し込んでください。

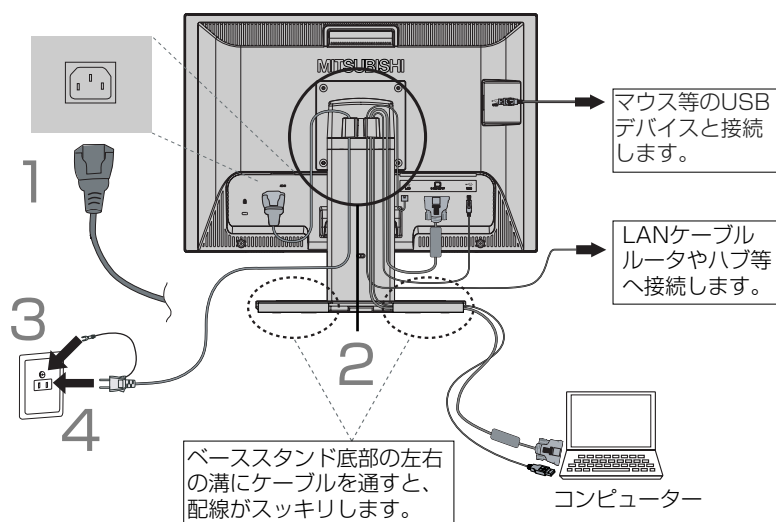
2 電源コードと信号ケーブルをケーブルホルダーでまとめる。

お願い

- 本機の高さや角度を調節し（→P13）、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

3 アースリード線を接地（アース接続）する

4 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

警告

- ・ 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・ 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

5 本機およびコンピューターの電源を入れる

3 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

■ USB接続の場合

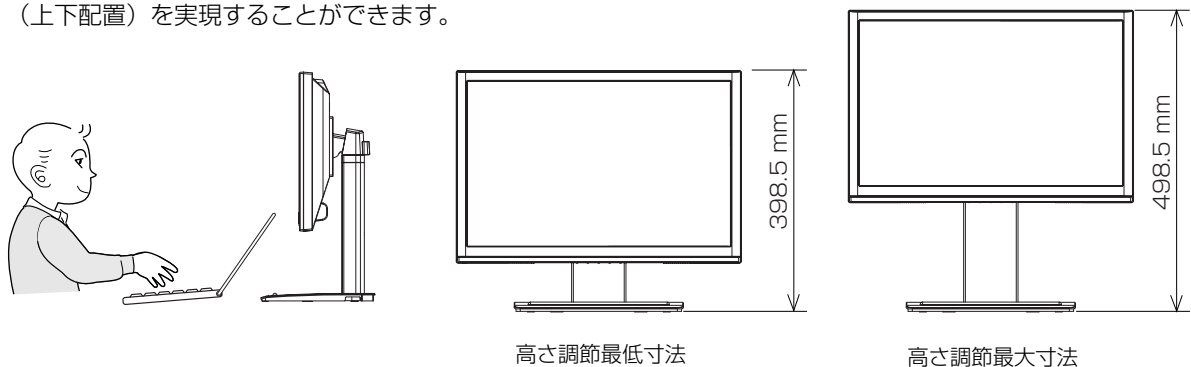
ドライバのインストールが必要です。(→P14~P18)の手順に従ってインストールしてください。

■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする(アナログ接続の場合のみ)」(→P20)の手順にしたがって画面を調節してください。オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節(OSD機能)」(→P21)をご覧ください。

2 高さを調節する

高さ調節機能により、ノートパソコンの表示画面と直線配置(上下配置)を実現することができます。

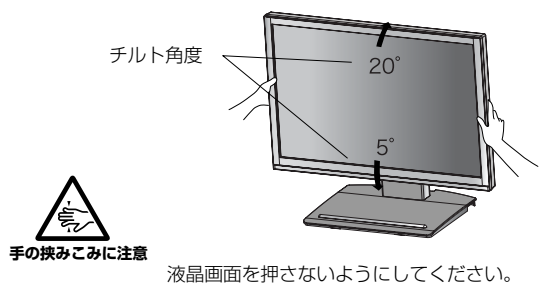


3 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。右図のように見やすい角度に調節します。

⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。

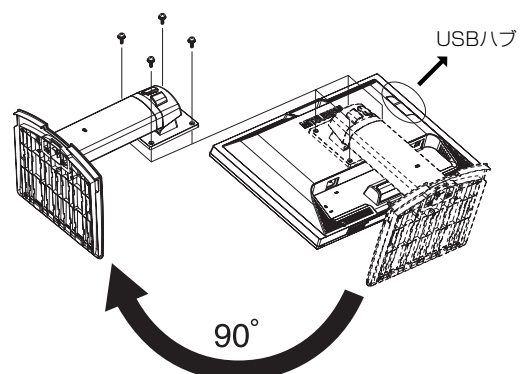


4 画面を回転する

USB接続の場合、画面を右に90°回転させて使用できます。設定方法は(→P17)をご覧ください。本機を右に90°回転させるには、スタンドを取り付けている4本のネジを取り外し、本機のUSBハブが上になるようにスタンドを再度4本のネジで締め付けます。

⚠ 注意

取り外したスタンドが落下しないよう注意してください。



お知らせ

● 画面を右90°回転して使用した場合、標準状態と比較してバックライト(蛍光ランプ)の寿命が短くなります。

お願い

- 図に示した以外の回転方向でのご使用はしないでください。熱がこもり、故障や火災、感電の原因となります。
- スタンドを取り外す場合、ケーブル類を取り外してください。
- 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きに置いて作業してください。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り外し、取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

ドライバのインストール

本機とコンピューターをUSB接続して、USB DISPLAY機能、LAN接続機能を使用するにはドライバをインストールする必要があります。ご使用のコンピューターが動作環境を満足することを確認し、手順に従いインストールしてください。

お知らせ

- USBハブのドライバはUSBケーブルを接続すると自動的にWindows標準ドライバがインストールされます。

1 動作環境（コンピューターシステム要件）

- Windows Vista® (32ビット版)、Windows® XP SP2以降 (32ビット版)
- 30MB以上の空きがあるハードディスク
- CD/DVD-ROMドライブ（付属ユーティリティディスクでインストールするために必要）
- ひとつ以上のUSB2.0ポート

本機を同時に1～2台接続する場合

- 1.2GHz以上のx86互換シングルコアプロセッサ
- 512MB以上のRAM

本機を同時に3台接続する場合

- 1.8GHz以上のx86互換シングルコアプロセッサ
- 1GB以上のRAM

本機を同時に4～6台接続する場合

- 1.6GHz以上のx86互換デュアルコアプロセッサ
- 1GB以上のRAM

お知らせ

- 以上の動作環境は動作を保証するものではありません。
- 本機での動画再生については、OS、グラフィックカード、動画再生ソフトウェアの組み合わせによって、正常に表示できない場合があります。
- DirectXやOpenGLなどのハードウェア機能を利用するAPIには対応しておりません。
- USB DISPLAYはUSBデバイスとして認識されるため、OSが起動するまで表示されません。

2 ドライバのインストール手順

お知らせ

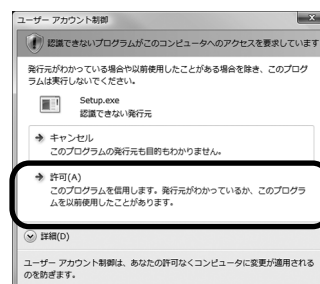
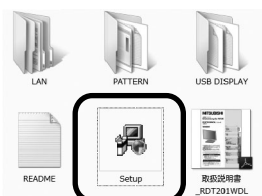
- 最新版のドライバは以下のホームページからダウンロードできます。
三菱電機株式会社 ホームページ
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/index.html>

お願い

- USBケーブルは指示があるまで接続しないでください。
- ご使用のコンピューターに管理者権限のあるユーザーでログインしてください。また他のユーザーがログインしていないことを確認してください。

1 付属のユーティリティディスクをセットする

ユーティリティディスク内の「Setup.exe」をダブルクリックします。



お願い

- ご使用のコンピューターのOSがWindows Vista®で、ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合は、[許可(A)]を選択してください。

2 MITSUBISHI USB DISPLAYドライバセットアップウィンドウの表示

LANドライバとUSB DISPLAYドライバにチェックが入っていることを確認し、[開始]をクリックします。



3 LANドライバのインストール

「LANドライバのインストールウィザードの開始」と表示されますので、[次へ(N)]をクリックします。LANドライバのインストールが開始します。



4 LANドライバのインストールの完了

インストール開始後、しばらくすると「LANドライバのインストールウィザードの完了」と表示されますので、[完了]をクリックします。



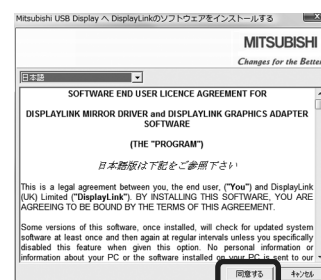
5 USB DISPLAYドライバのインストール

続いて、USB DISPLAYドライバのインストールを実行します。

ドライバのソフトウェアライセンスの同意書が表示されますので、内容を確認の上、[同意する]をクリックします。USB DISPLAYドライバのインストールが開始されます。

お知らせ

- [キャンセル]をクリックすると、ドライバはインストールされません。



6 USB DISPLAYドライバのインストール完了

ドライバのインストール開始からしばらくすると「セットアップが正常に終了しました。」と表示されますので、[OK]をクリックします。

コンピューター環境によっては、再起動を促すウィンドウが表示される場合があります。その場合は指示に従い、[はい(Y)]をクリックします。コンピューターが再起動します。

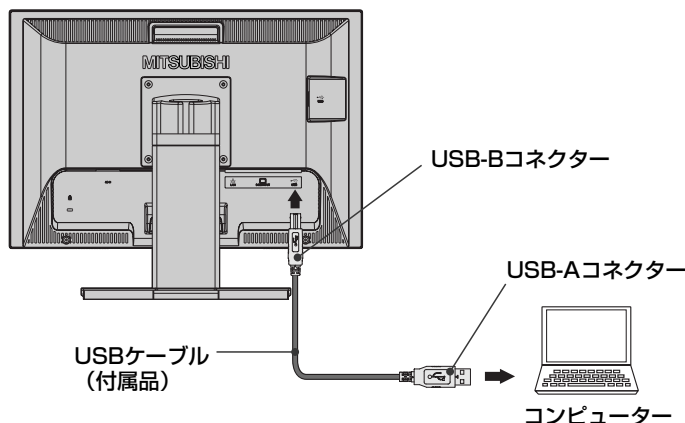


7 USBケーブルの接続

USBケーブルをコンピューターのUSB-A端子に、もう一方を本機のUSB-B端子に接続します。

コンピューターの環境によっては、再起動を促すウィンドウが表示される場合があります。

その場合は指示に従い、[はい(Y)]をクリックします。
コンピューターが再起動します。



「新しいディスプレイ USB Display (USB_0239-XXXXXXXXXX) が見つかりました」と右下にバルーン表示されます。以上でインストール作業は完了です。USB DISPLAYの設定については (→P17) をご覧ください。



8 デバイスマネージャーの確認

「デバイスマネージャー」画面でUSB DISPLAY、LAN、USBハブをコンピューターが正しく認識しているか確認します。

下図はWindows Vista®での「デバイスマネージャー」画面の表示例です。

枠で囲われている箇所について、正しく表示されているか確認してください。

USB DISPLAY



LAN



USBハブ



お知らせ

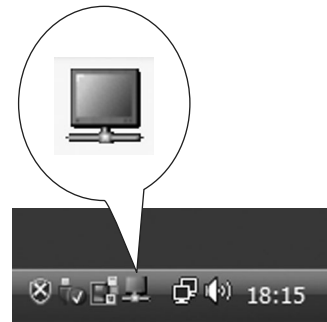
- 本機の電源モードとUSB DISPLAY機能、USBハブ機能およびLAN接続機能の動作の関係は以下の通りです。

本機の電源モード	USB DISPLAY	USBハブ機能	LAN接続機能
通常動作時	動作します	動作します	動作します
スリープモード時	動作しません	動作します	動作します
オフモード時	動作しません	動作しません	動作します

USB DISPLAY設定

USB DISPLAYはUSBケーブルでコンピューターと接続することで、ノートパソコンのディスプレイや既存モニターと簡単にマルチディスプレイ環境が構築できます。

USB DISPLAYの設定は、タスクトレイのUSB DISPLAYアイコンを右クリックして実施します。



【画面解像度】

最適解像度「1680X1050」に設定されます。

【画面の色】

画面の表示色を中(16ビット：約6万5千色)または最高(32ビット：約1677万色)に切り替えます。

【回転】

画面の回転を標準(水平方向0°)または90°右回り(時計方向に90°回転)とのどちらかを選択します。

【移動位置】

既存モニターあるいはノートパソコンの本体ディスプレイとの位置関係を「右」、「左」、「上」、「下」で指定します。

【移動】

USB DISPLAYの表示を有効にする場合、選択します。

【無効】

USB DISPLAYの表示を無効にする場合、選択します。

【詳細設定】

「画面の設定」ウィンドウが表示されます。(Windows Vista®の場合)



お知らせ

- USB DISPLAYをご使用の場合、コンピューターの再起動やスタンバイ/スリープ/休止状態からの復帰時、壁紙が消える場合があります。(その他の表示は正常です。)

USBハブ機能について

本機は、USBハブ機能としてUSBダウンストリームを2ポート装備しています。(USB2.0対応)
USB対応のメモリー、マウスやキーボードなどの周辺機器からのケーブルを接続します。

お知らせ

- USBハブのドライバは付属のUSBケーブルでコンピュータと接続すると自動的にインストールされます。
- 本機の電源がオフモードの場合、USBハブ機能は使用できません。
- USB機能は使用するコンピュータのBIOSやOS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。

お願い

- 本機の電源スイッチをオフにしたり、Windows®のシャットダウンを実行する場合には、事前に本機に接続したUSB機器を停止させて取り外してください。
万一、本機に接続したUSB機器を停止させないまま、上記の操作をおこなうとコンピュータやUSB機器に重大な不具合が発生し、データが失われることがあります。
- USBハブがコンピュータに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返したりしないでください。

LAN接続機能の設定について

本機は、10BASE-T/100BASE-TXで接続可能なLANコネクタ（RJ-45）を装備しています。
スイッチングHUBやブロードバンドルーター、ADSL/光モデム等にLANケーブル（市販品）を接続して、社内LANやインターネットに接続できます。
ネットワークの接続設定が必要な場合がありますので、IT担当者やインターネットサービスプロバイダに設定方法をご確認ください。

お知らせ

- 100BASE-TXで使用される場合は、カテゴリ5以上のLANケーブルをご使用ください。
- ご使用の環境により、十分な通信速度が得られない場合があります。

Windows® セットアップ情報とテストパターンについて

Windows® セットアップ情報（アナログ接続の場合）

Windows®95/98/Me/2000/XP, Windows Vista®用の設定ファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

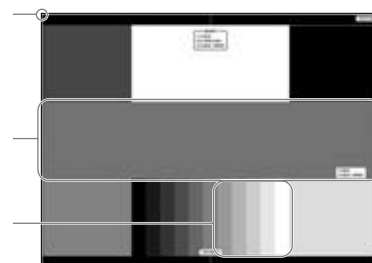
テストパターン

付属のユーティリティディスクにはテストパターンが入っています。
このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。
ご使用方法については、ユーティリティディスク内のREADMEをご覧ください。

画面調節メニューの左／右または下／上の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。(→P22)

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。(→P22)

ブライトネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。(→P22)



テストパターン表示画面

オートセットアップ (アナログ接続の場合)

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(→P21~26)

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」(→P21)をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にテストパターン (→P19) またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう (2通りの方法があります。)

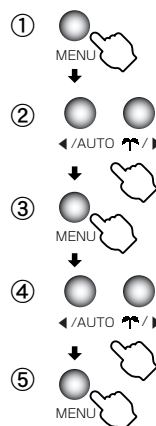
【ワンタッチ操作】

OSD画面が表示されていない時、「AUTO」ボタンを押すと、「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



【OSD操作】

- ① 「MENU」ボタンを押してOSD画面を呼び出す。
- ② 「◀」「▶」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。
- ③ 「MENU」ボタンを押して決定する。
- ④ 「オートセットアップ」の選択画面になったら「◀」「▶」ボタンで「する」を選択する。
- ⑤ 「MENU」ボタンを押して決定する。
- ⑥ 「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



お知らせ

- 自動調節中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。



お願い

- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。また、DOSプロンプトのように白い部分が極端に少ない画像の場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、画面調節(→P22)でお好みの画面に調節してください。

画面調節 (OSD 機能)

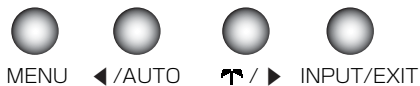
OSD画面の基本操作

本機にはOSD (On Screen Display) 機能がついています。OSD画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



OSD操作ボタン



OSDメニュー画面

OSD呼出し時の初期メニュー画面は、左上のブライトネス調節を選択しています。
「◀」「▶」ボタンで調節したい項目にカーソルを合わせ、「MENU」ボタンで選択すると調節OSD画面へ切り替わります。
(アイコンの色が黄色になります。)



メニュー画面 (例)














調節 OSD 画面 (例)


お知らせ

- OSD画面には下部に操作方法を示したキーガイドを表示しています。
- OSD画面が表示された後、操作がおこなわれない場合は、OSD表示時間で設定された時間が経過すると自動的に消えます。








OSD機能一覧

アイコン	内 容	
 ブライトネス	画面の明るさを調節します。	
 コントラスト	コントラストを調節します。	
 オートセットアップ	「コントラスト」「左右位置」「上下位置」「水平サイズ」「位相」を自動調節します。(アナログ接続の場合のみ)	
 画面調節	画面調節アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り替わります。(アナログ接続の場合のみ)	
	画面調節アイコン	内 容
	 左/右	左右方向の表示位置を調節します。
	 下/上	上下方向の表示位置を調節します。
	 水平サイズ	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
	 位相	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。 また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときにも使用します。
 EXIT	OSDメニューの画面調節アイコンに戻ります。	
 COLOR	COLORアイコンを選択すると、下記のメニュー画面に切り替わります。	
	COLORアイコン	内 容
	USER	お好みの色に「R」「G」「B」を調節できます。 「MENU」ボタンを押すと、「R」が調節できる状態になり、もう一度「MENU」ボタンを押すと、「G」が調節できる状態になり、もう一度「MENU」ボタンを押すと、「B」が調節できる状態になります。 R :赤色を調節 G :緑色を調節 B :青色を調節
	9300	色温度:9300K色で表示します。
	sRGB	sRGB規格の色で表示します。
5000	色温度:5000K色で表示します。	
 ブラックレベル	黒レベルを調節します。 画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。	
 画面サイズ	表示画面サイズを選択する機能です。(→P26)	
	フル:画面全体に表示します。 アスペクト:縦横比率を変えずに画面拡大します。 お知らせ ● ワイドフォーマットのPC入力時は、選択できません。	

OSD機能一覧

アイコン	内 容	
 シャープネス	文字や画像のキレを調節します。	
 入力自動切換	<p>信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。「しない」「する」を選択できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択されているコネクタは、OSD画面のMONITOR INFO.で確認ができます。 	
 ECO PROF.	ECO PROF.アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り替わります。(→P25)	
	ECO PROF.項目アイコン	内 容
	 ECO設定	<p>「大」「中」「小」の中から好みのモードを選択できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷設定は、「中」です。 ● 設定を有効にするには、ECO設定(☑)スイッチ(→P7)を「オン」にしてください。
	 ECOメーター表示	<p>ECOメーターの透過率を調節します。表示させない場合は、オフ:0%に設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷設定は、「オフ:0%」です。
	 省エネ電力量	<p>省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率をOSD画面上に表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ電力量と省エネ率をリセットする場合は、「MENU」ボタンを押して「◀」「▶」で「する」を選択し、再度「MENU」ボタンを押すと表示値は、「000,00kWh」と「0%」に戻ります。 ● 4年以上経過すると、省エネ電力量と省エネ率の表示色は赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますので、表示値をリセットしてください。 ● 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率が「0」でない場合があります。「0」でない場合は、リセットされることをお奨めします。
	 電源自動オフ	<p>本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。「しない」「する」を設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機動作後は、電源オフされるため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。
	 EXIT	OSD選択メニュー画面のECO PROF.アイコンに戻ります。
 OSD表示位置	OSD表示位置アイコンを選択すると、下記のアイコンメニュー画面に切り換わります。	
	OSD表示位置アイコン	内 容
	 水平表示位置	左右位置を調節します。
	 垂直表示位置	上下位置を調節します。

OSD機能一覧

アイコン	内 容
 OSD表示時間	OSDの表示時間(10~120秒)を調節します。
 操作ロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。(→P26) お知らせ ● 「MENU」ボタンで「操作ロック」OSD画面を表示し、「▲▼▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされます。OSDロック状態でもブライトネス、コントラストの調節はできません。「操作ロック」アイコンを選択し、「▲▼▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックが解除されます。
 言語切換	OSD画面の表示言語を切り替えることができます。「日本語」「ENGLISH」のお好みの言語を選択してください。
 DDC/CI	DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。(アナログ接続の場合のみ) お知らせ ● 「しない」の場合、外部からの制御ができなくなります。 ● 工場出荷設定は「する」です。
 MONITOR INFO.	MONITOR INFO.アイコンを選択すると、MODEL(形名)とSERIAL NUMBER(製造番号)および、入力信号のコネクター、周波数、解像度を表示します。
 オールリセット	ブライトネス、コントラスト、画面調節、COLOR、ブラックレベル、画面サイズ、シャープネス、入力自動切換、ECO PROF.、OSD表示位置、OSD表示時間、DDC/CIの設定を出荷時の状態に戻します。 お知らせ ● ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率の値はリセットされません。リセットしたい時は、省エネ電力量メニュー(→P23)でおこなってください。
 EXIT	OSD画面を消します。

主なOSD機能



ECO PROF. (ECO Professional機能)

ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

■ ECO 設定 (↑)

「大」「中」「小」の3タイプの設定をすることができます。

- 大: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約10W(*)削減します。
- 中: 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約8W(*)削減します。
- 小: 消費電力を一律約3W削減します。

お知らせ

- 前面のECO設定 (↑) ボタンの1タッチ操作で、ECO設定の「オン」「オフ」ができます。
- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- (*) マーク説明:
画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「OFF」にした状態との比較値です。(当社測定結果による)

■ ECO メーター (🌿)

現在の省エネ電力値を画面の右下にリアルタイムに表示します。また、ECOメーターの透過率をお好みに応じて調節することができます。

お知らせ

- 省エネ電力値: ECO設定を使用する、または画面の明るさ(ブライトネス)を暗くした時に得られる電力削減値です。
- 「◀」で「オフ:0%」位置まで動かすと完全透明になり、非表示状態になります。

■ 省エネ電力量 (📊)

省エネ電力量と省エネ率をOSD画面で確認することができます。

省エネ電力量: ご使用を始めてから(またはリセットした時点から)現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「***.***kWh」で表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

省エネ率 : 省エネ電力量の削減効果を「*%」で表示します。

■ 電源自動オフ (🔌)

本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。電源スイッチの切り忘れ対策になります。

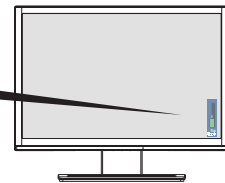
お知らせ

- 本機能動作後は、電源がオフになるため再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

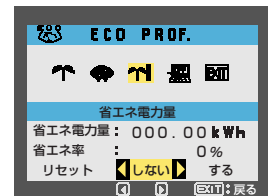


ECO設定画面

(表示例)



ECOメーター表示調節画面



省エネ電力量表示画面



電源自動オフ設定画面

主なOSD機能

画面サイズ

表示画面サイズを選択する機能です。

フル :画面全体に表示します。
アスペクト :縦横比率を変えずに画面拡大します。

- ワイドフォーマットのPC入力時は、選択できません。
メニュー選択はスキップします。

お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
入力信号によっては、表示画面が縦または横方向に十分拡大されないことがあります。



画面サイズ選択画面

操作ロック

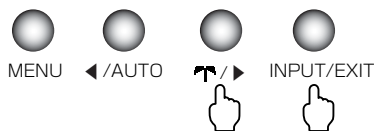
誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。
「MENU」ボタンで「操作ロック」OSD画面を選択し、「↑/▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされます。
OSDロック状態でも、ブライトネス、コントラストの調節はできます。
「◀」「▶」ボタンで調節するアイコンを選択します。
「EXIT」アイコンを選択すると、OSD選択メニュー画面が消えます。



お知らせ

- 操作ロックを設定しても電源オン/オフボタンを含み全ての操作ボタン (→P7) は動作します。

ロック解除



「MENU」ボタンを押して「操作ロック」OSD画面を表示した後、「↑/▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックが解除され、通常のOSDメニュー画面に切り替わります。



操作ロック画面



操作ロック解除画面

OSD機能による画面の調節が必要となる場合

アナログ接続の場合、本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。オートセットアップ (→ P20) をおこなってください。

<工場プリセットPCタイミング>

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
720 × 350	31.5kHz	70.1Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1440 × 900	55.9kHz	60.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ (→ P20) するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.0～82.3kHz、垂直周波数56～76Hz対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- USB DISPLAYで表示している場合、解像度は1680×1050で表示されます（変更できません）。

お知らせ

- 本機は解像度1680×1050以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1680×1050より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。
- アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。

ノートタッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust） （800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

- アナログ入力信号（ミニD-SUBピン）のみ有効です。



NTAA実行中画面

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	38W	緑色点灯
スリープモード時	2W以下	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P35
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P7
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「MENU」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P35
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P22
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 27

表示されないときは… (つづき)

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが橙色に点灯している場合	USB DISPLAYはUSBデバイスとして認識されるため、OSが起動するまで表示されません。BIOS等の設定が必要な場合はD-SUBで接続してください。	
		USB DISPLAYをご使用の場合、本機が正しく認識されていません。USBケーブルを一度抜いてから再度挿しなおしてください。	
		USB DISPLAYをご使用の場合、コンピュータのスリープを解除した後、まれに表示しない場合があります。その場合はUSBケーブルを一度抜いてから再度挿しなおしてください。	
		パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P28
		信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11
		コンピュータの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P35

* 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

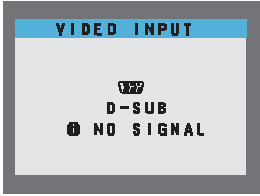
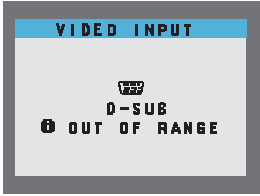
表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面が出たり消えたりする (USB DISPLAYで表示している場合)	USB DISPLAYを認識する際に、画面が一瞬消えてから表示されることがありますが、故障ではありません。	
	他のUSB機器を接続した場合、その機器の認識時に画面が一瞬消えてから表示されることがありますが、故障ではありません。	
画面の動きがスムーズでない (USB DISPLAYで表示している場合)	ご使用のコンピュータがシステム要件を満足しているかご確認ください。	P14
	本機での動画再生については環境によって正常に表示されない場合があります。	P14
	3DゲームなどDirectXやOpenGLなどのAPIを利用したアプリケーションには対応しておりません。	P14

表示がおかしいときは… (つづき)

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点 (点灯しない点) や輝点 (点灯したままの点) がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P2
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	推奨タイミング以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。	P27
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P6, 39
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角 (画面を見る角度) によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P13 P39, 40
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は徐々に薄れていきます。	P6, 39
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P35
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節してください。	P22
	● OSD 画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 27
画面がちらつく (分配器を使用している場合)	分配器を中継せず、コンピューターと直接接続してください。	P11
画面がちらつく (上記以外の場合)	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P35
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P22
	● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 27

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された※ ¹ 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P11
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P28
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※ ² 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P27
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P27

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	原因	対処	参照
ドライバがインストールできない	コンピューターに管理者権限のあるユーザーでログインしていない可能性があります。	管理者権限のあるユーザーでコンピューターに再度ログインしてください。	P14
	ご使用のコンピューターが対応OSでない可能性があります。	対応OSをご確認ください。	P14
ドライバインストール時に警告が出る	セキュリティソフトによっては警告画面が表示される場合があります。	セキュリティソフト側でインストールを許可してください。	
USBハブに接続した機器が動作しない	本機の電源が切れている可能性があります。	本機の電源を入れてください。	P7
	USB機器がセルフパワー機器で電源が接続されていない可能性があります。	USB機器に電源を接続してください。	
ネットワークにつながらない (LAN接続)	不明なデバイスになっている、またはデバイス名の先頭に「！」がある可能性があります。	「デバイスマネージャー」画面でLANドライバが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されていない場合、再度ドライバのインストールを実施してください。	P16
	ネットワークの設定がされていない可能性があります。	インターネットサービスプロバイダやIT担当者に接続設定を確認の上、設定してください。	P18
解像度や色数が変更ができない ／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P27
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P19
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ；

www.pc-eco.jp

画面の **PCリサイクルマーク申込** からお入りください。

ご注意：

法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)
☎ フリーダイヤル 0120-71-3322	☎ フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所 (付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：三菱液晶ディスプレイ
- 形名：RDT201WDL / RDT201WDL (BK)
- 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
- 使用状況
(PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、
解像度、入力信号 (アナログ、USB) など)
- 購入年月日または使用年数

- 無料出張サービス規定
この製品をお買上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット (現品とは異なる場合があります。) を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 1. お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問い合わせ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

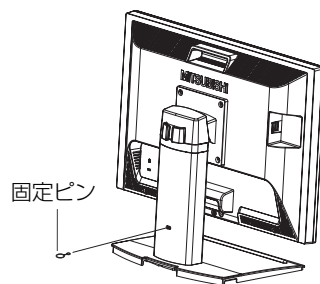
再梱包するとき

再梱包するときは次の手順でベーススタンドを取り外してください。

手順1

スタンドネックを下げて固定ピンを差し込んでスタンドネックが上下しないようにします。

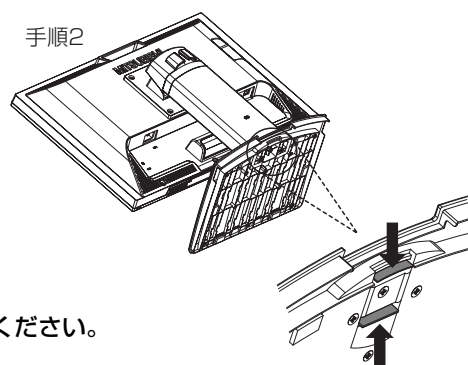
手順1



手順2

図のようにベーススタンドのプラスチック部分を指で押しながらベーススタンドを取り外してください。取り外したベーススタンドは、本体部と合わせて再梱包してください。

手順2



⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷つけないように注意してください。つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

市販のアームを取りつけるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取りつけることができます。

お願い

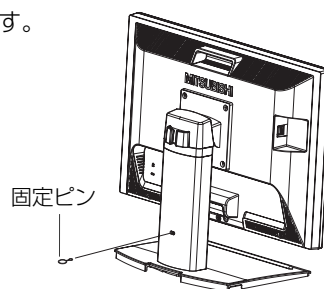
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約4.4kgです。）

お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。次にスタンドネックを下げて固定ピンを差し込んでください。

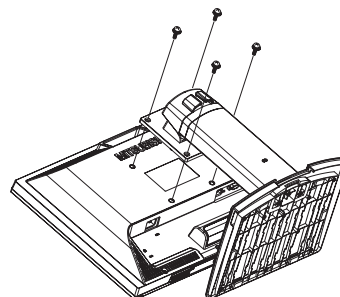


【固定ピンの取付け】

2 スタンドを取り付けている4本のネジを取り外し、スタンドを引き上げてください。

お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないように下向きに置いておこなってください。
- スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



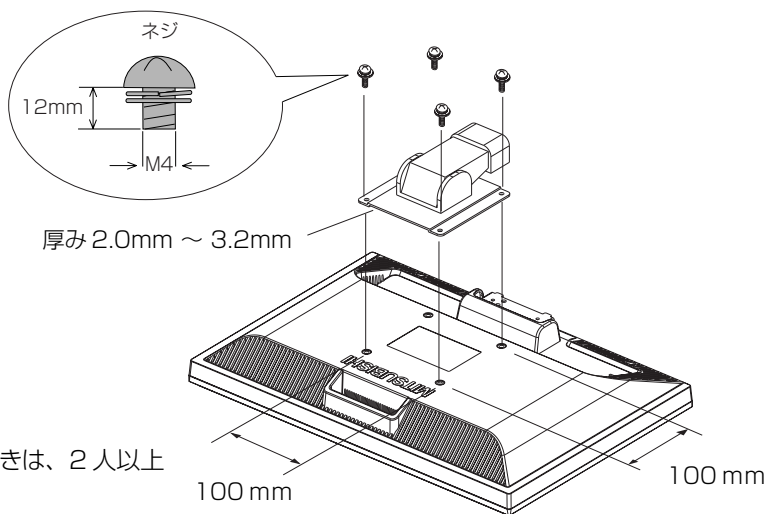
【ネジの取り外し】

3 下記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm
VESDA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかり
と締めてください。(ただし、締めつけず
ぎるとネジがこわれることがあります。98
~ 137N・cmが適切な締め付トルクです。)



⚠ 注意

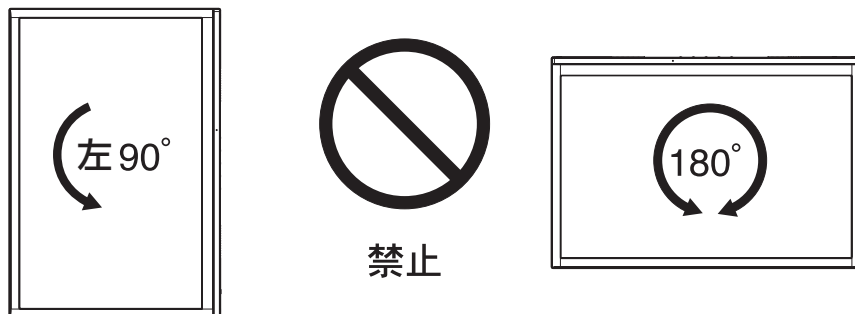
落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。
落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談が必要です。
万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

火災や感電防止のために

- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ (長さ 12-14mm)
- アームを取り付けてご利用される場合でも、左 90° 回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。
内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



お知らせ

- 画面を右90°回転して使用した場合、標準状態と比較してバックライト（蛍光灯）の寿命が短くなります。

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2系統入力 P11
2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ準備していることを表します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P28
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 (Display Data Channel / Command Interface) P24
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management) P28
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital) P10
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P2, 10, 11
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

LAN (Local Area Network) P8, 14, 18, 40
比較的狭い地域で複数のコンピューターやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。現在、普及している規格はイーサネットや無線などがあります。

Plug&Play P28
Windows[®]で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P22
IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

USB (Universal Serial Bus) P8, 10, 14, 18
コンピューターと周辺機器との接続を簡素化するために、開発されたインターフェイスです。

VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) P28, 36, 40
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P22
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

国際エネルギースタープログラム P3, 40
デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局 (EPA : Environmental Protection Agency) が推し進めているプログラムのことです。

応答速度 P40
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ (追従性) のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度 P40
単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P40

白と黒の明るさの比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P6, 31

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P31, 40

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度（白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度）のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数 P27, 40

画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。

水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するという事です。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

チルト角度 P13, 40

ディスプレイ画面を前後に動かせる角度の事です。

ノータッチオートアジャスト／NTAA (No Touch Auto Adjust) P28

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

パワーマネジメント機能 P28

コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P27, 40

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が高いほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名	RDT201WDL / RDT201WDL (BK)		
液晶パネル	TN型・表面処理：ノングレア（反射防止）		
サイズ（表示サイズ）	20.1型（51.1 cm）		
有効表示領域	433.4 × 270.9mm		
表示画素数 ※3	1680 × 1050		
画素ピッチ	0.258mm		
表示色	約1677万色		
視野角（標準値）※1	左右160°、上下160°（コントラスト比10）		
輝度（標準値）	250cd/m ²		
コントラスト比（標準値）	900 : 1		
応答速度	5msec		
PC入力	水平周波数	31.0 ~ 82.3kHz	
	垂直周波数	56 ~ 76Hz（ノンインターレース）	
	ビデオ信号	アナログRGB、USB	
	同期信号	セパレート同期信号（TTL）	
	信号入力コネクタ	USB-B、ミニD-SUB15ピン	
その他接続端子	USBハブ	USB2.0 ダウンストリーム×2ポート	
	LAN	10Base-T/100Base-TX RJ-45×1ポート	
適合規格等 ※2	省エネルギー基準	国際エネルギースタープログラム	
	安全	UL60950-1、c-UL	
	エルゴノミクス	ISO13406-2（準拠）、TCO'03	
	不要輻射	VCCI-B、FCC/DOC、CE、低周波電磁界ガイドライン、MPRIII	
	環境	PCグリーンラベル（2008年度版）、グリーン購入法、J-Moss	
	プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	DDC/CI, Windows Vista® Basic	
使用環境条件	温度	5 ~ 35°C	
	湿度	30 ~ 80%（結露のないこと）	
電源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	38W
		省エネモード	スリープモード時：2W以下、オフモード時：1W以下
	電源入力コネクタ	3P IEC タイプ	
質量	約6.3kg（スタンドなし約4.4kg）		
梱包状態（質量/寸法）	約8.0kg / 534（W）× 474（H）× 221（D）mm		
チルト角度 / スイベル角度 / 高さ調節	上20°、下5° / 機能無し / 100mm		
外形寸法			

- 【ミニ解説】 ※1 視野角：白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度を示します。
 ※2 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
 ※3 本機は、解像度1680×1050以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

お買い上げいただいた本製品はスウェーデンの労働団体(TCO)が定めた環境規格TCO '03ガイドラインに適合しています。TCO '03ガイドラインは、画面品質、環境保護、低周波漏洩電磁界、安全性、省電力、リサイクル性等、広い分野にわたって規定しています。以下の英文は、TCOが適合製品に英文で添付することを定めた環境文書で、TCO '03ガイドラインの目的および環境要求の概要を記述しています。

TCO Development



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and the environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The product must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14001
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in cooperation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labelling system started with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
 - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
 - (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.
3. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

U.S. Responsible Party:	Mitsubishi Digital Electronics America, Inc.
Address:	9351 Jeronimo Road, Irvine, California 92618 U.S.A.
Tel. No.:	+1-(949)465-6000

Type of Product:	Display Monitor
Equipment Classification:	Class B Peripheral
Model:	RDT201WDL(AE807) RDT201WDL(BK)(AE807)



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

さくいん

英数字

FCC	42
LAN	8,14,18,38,40
Macintosh	2,3,11
OSD	
OSD 画面	21 ~ 27
OSD 操作	21 ~ 27
画面の調節をする	21 ~ 27
オートセットアップをする	20
USB	8,10,14,18,38
USB DISPLAY 設定	2,10,17
Windows®セットアップ	2,19

あ

安全のために必ず守ること	4 ~ 6
案内画面/注意画面	
NO SIGNAL	32
OUT OF RANGE	32
位相	20,22,31,38
応答速度	38,40

か

回収	34
解像度	27,31,32,39,40
各部の名称	
ケーブルホルダー	8,12
信号入力コネクタ	8,10,40
スタンド	9,36
スタンドネック	9,36
ベーススタンド	2,9,36
操作ボタン	→操作ボタン
電源入力コネクタ	8,12,40
電源ランプ	7,28,29,30
盗難防止用ロック穴	8
本体正面	7
本体背面	8
画面	
OSD 画面	→ OSD
工場プリセットタイミング	27
規格	
DDC 2B 規格	28,38
DDC CI 規格	24,38,40
DPM	28,38
Plug&Play	28,38
sRGB	22,38
TCO'03	3,40,41
VESA 規格	38,40
国際エネルギースタープログラム	3,38,40
輝度	38,40
機能	
ECO PROF.	2,23,25
NTAA (No Touch Auto Adjust)	28,39
OSD 機能	21 ~ 27
USB ハブ機能	18
操作ロック	24,26
Plug&Play 機能	28
拡大・スムージングファイン機能	28
簡易表示機能	28
ノータッチオートアジャスト機能	
→機能:NTAA	
パワーマネージメント機能	28,30,39
画面調節	22
カラー調節	22
オートセットアップ	13,20

コネクタ	→各部の名称/接続
個人情報の取り扱い	35
困ったとき	29 ~ 35
NO SIGNAL	32
OUT OF RANGE	32
アフターサービス	35
解像度	31,32
画面に何も映らない	29,30
暗い/表示しない	30
黒点/輝点	31
故障かな?と思ったら	29 ~ 33
推奨信号タイミング	27
残像	6,31,39
修理相談窓口	35
ちらつき	31
電源ランプ	7,29,30
バックライト	30
表示がおかしい	30,31
表示されない	29,30
表示色	22,31
コントラスト比	39,40

さ

残像	→困ったとき
視野角	31,39,40
周波数	27,39,40
修理相談窓口	35
仕様	40
応答速度	40
外形寸法	40
解像度	27,31,32,39,40
画素ピッチ	40
輝度	38,40
コントラスト比	39,40
質量	40
視野角	31,39,40
周波数	27,31,39,40
使用環境条件	40
消費電力	28,40
チルト角度	13,39,40
適合規格等	40
同期信号	40
ビデオ信号	40
表示画素数	39,40
表示色	40
保管環境条件	40
有効表示領域	40
垂直周波数	27,39,40
水平サイズ	22
水平周波数	27,39,40
接続	
USB ケーブル	2,16
コネクタとケーブルの対応表	10
角度を調節する	13
信号ケーブルを接続する	11
接地 (アース)	12
電源を入れる	12
電源を接続する	12
変換アダプター	2,10,11
ミニ D-SUB15 ピン	2,10,11,40
設定	14
LAN 接続機能の設定について	18
USB DISPLAY 設定	17
オートセットアップをする	20
ドライバのインストール	14

設置	9
操作ボタン	
MENU ボタン	7,20,26
◀/AUTO ボタン	20 ~ 26
▶/▶ ボタン	20 ~ 26
INPUT/EXIT ボタン	20 ~ 26
電源スイッチ	→電源

た

タイミング	27
OSD 機能一覧	22,23,24
OSD 表示時間	24
操作ロック	24,26
位相	20,22,31,38
オートセットアップ	20,22
オールリセット	24
言語切替	24
コントラスト	22
下/上	22
画面調節	20,22
水平サイズ	22
左/右	22
ブライトネス	22
ブラックレベル	22
チルト角度	13,39,40
テストパターン	19
電源	
アースリード線	12
電源コード	2,4,8,12,29
電源スイッチ	7,29
電源電圧	12
電源プラグ	12
電源容量	12
同期信号	27,40

な〜わ

廃棄する	34
PC 入力	40
表示画素数	2,39,40
付属品	2
USB ケーブル	2,16
ケーブルホルダー	8,12
信号ケーブル	2,10,11,16
スタンドネック	9,36
セットアップガイド	2
電源コード	→電源
ベーススタンド	2,9,36
保証書	2,35
ユーティリティディスク	2,19
付録	36 ~ 43
市販のアームの取り付けかた	36,37
再梱包するとき	36
スタンドの取り外しかた	36
保証とアフターサービス	35
ユーザーメモリー機能	27
用語解説	38,39
リサイクル	34



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 (東京ビル)

AW-P0544A